

二〇〇〇年一二月一二日第三種郵便物承認

毎月(一・二・三・四・五・六・七・八の日)発行

定価百円

KS KS

わあ～い

NO. 52 2025. 12. 22

shingakujuku2004@themis.ocn.ne.jp

<http://www.shinai.info>

編集人

社会福祉法人

心 愛

〒573-0146

枚方市大峰元町1丁目21-5

TEL 072-859-9194

FAX 072-859-9195



一泊旅行 IN 三重

みんなで沢山遊んで美味しいもの
食べました♪

新たなグループホームの建設に向かって

理事長 藤澤秀治

今年もう年の瀬がそこまでやってきている。今年の心学塾作業所、グループホームの運営においていろいろなことがあった。作業所では9月に6年ぶりとなる一泊旅行に行き、おやつカンパニーや伊勢スペイン村、おかげ横丁でとても楽しい体験をしてきた。その様子は、写真等をみてもよくわかるし「あんなに喜んでもらえるなら2、3年に一度は実施したいね」と話しているところである。

10月19日、「触って！食べて！楽しんで！みんなで楽しむ実りフェスタ」をテーマに、今年も盛会の裡に心学塾フェスタを開催することができた。地域の人たちに参加してもらおうと今年も呼び掛けてきたが、昨年のほぼ倍にあたる人たちの参加があり、当初の目的を一定果たすことができたと喜んでいる。

また、例年通り、職員には年末一時金を、メンバーにはボーナスを支払うことができた。満足できる額ではないかもしれないが、今の法人としては精いっぱい支給できたと思っている。

現在、法人が運営しているグループホームのうち、あい愛の家については、平成13年5月に築13年経った民家をお借りして、その後20年以上経って家が傾きドアが開かないなど、老朽化が激しくみられるようになり、大家さんに耐震工事や修繕工事の予定をお聞きしても「予定はない」とのこと、近い将来南海トラフ地震が起こるのでは、という状況の中で、新しい住居の建設に向けて土地探しを始める旨、理事会で論議を始め、そこでの決議を受けて、これまでいろいろとお世話になってきた事業者にお願いして土地探しを始めた。そんな時、旧くすの木園舎跡地に総定員10名のグループホームと短期入所施設を整備する事業者を募集するという情報が入った。7月29日に開催された「くすの木旧園舎跡地の整備事業者選定」に応募したところ、このほど跡地における整備事業者に決定したとの通知を受け取った。

今後、市と事業運営に関する協定書の締結と契約について協議していくことになるが、市の土地を借りて、市の事業に参加させてもらうことに大きな責任を感じている次第である。

今後の整備スケジュールとしては、令和8年9月ごろ 国庫補助金交付決定後、施設整備に着手し、令和9年3月に竣工、4月には運営開始という予定である。

新しい年には新しい事業に向かって大きく動き出すことになる。今後ますますの皆さんのお力添えをお願いしたい。



境界線を緩やかに引いて 

先日、就労継続支援 B型に通所する娘のための在宅支援サービスをようやく申請しました。長い間迷い、やっと踏み出せたのは私自身の心境の変化、そして「境界線」を捉え直せたからかも知れません。

心理学で「境界線」とは、心の中にある「ここまでが自分、ここからはあなた」という見えない線引きです。この線が曖昧になると相手の問題を自分の問題のように抱え込んでしまい、困ってしまう。

私もきっとそういう状況であったように思います。娘のサポートを「どこからが自分の責任で、どこからが娘の課題か」を分けられず、「まだできる。まだ私がやらないと。」という想いでした。娘の困りごとと、親としての役割をごちゃまぜにして家庭内で向き合いながら、年々、心と体の疲れを感じていました。ただ、娘はガイドヘルパーさんやショートステイ等は利用していました。「サポートや支援は家庭の外で受けるもの」という私の中のこだわりの様な「境界線」があったように思います。

そんな私の想いが変わるきっかけは、ちょうど一年前、他県で独り暮らしをする母が病に倒れたことでした。母の介護と娘のサポートの両立に、精神的に追い詰められる日々。身をもって「家族だけで全てを抱え込むと、みんなが疲れ果ててしまう」ことを痛感しました。

そんな時、病院の紹介で地域包括支援センターの方々が動いて下さり、訪問看護やヘルパーさんといった「チーム」のサポートが得られました。母の「家庭内」で専門家の力を得られたことで、私はどれほど救われたか知れません。この経験から私は、もっと気楽に周りに頼りたい気持ちが自分にあることに気づき、肯定できた気がします。障がいをもつ家族のサポートは長期化・永続化する傾向にあります。娘の意向を大切にしつつ、娘の肩をがっちりと掴んでいた手の力を少し緩めて、お互いに心地よい距離感を見つける作業を今後も続けていきたいと思っています。

ピアカウンセラー 林 裕子 

寄付金をいただきました。

紙面をお借りして心より御礼申し上げます。(敬称略・順不同)

2025年7月16日～2025年12月12日

小野 泰/伊瀬知 宣朗/鈴木 修/松本 安之/辻本 好晴/仲田 美貴子/奥西 嘉一
/辻 宗史/山口 かつえ/東野 幸治/重村 恵未/中西 清子/長村 みどり/
松倉 延次/上谷 順子/千賀 美智子/桜木 誠子/藤原 外喜夫/岩崎 都/
後藤 蓉子/原 大輔/森 孝/山崎 隆志/中野 隆子/清水 憲子/和田 正直/
松尾 一義・美根子/佐野 照子/森 経子/藤田 幸代/松下 守代/松本 サチ子/
池永 満生/



9月18日(木)から19日(金)にかけて、心学塾作業所では、三重県まで一泊旅行に出かけました。

数年ぶりの旅行でした。初めて参加されるメンバーさんや職員もいて、それぞれドキドキ・ワクワクしていたと思います。

1日目は、作業所からバスで出発し三重県津市にあるおやつタウンに行きました。おやつタウンでは、アトラクションを楽しむメンバーさんや、オリジナルベビースターを作りおいしそうに食べているメンバーさんもいました。それぞれ好きなフレーバーを選び、マラカスのような容器に入れてシャカシャカと味付けできるので、みんな楽しくマイベビースターを作れたのではないですか??お昼ご飯はカレー。みなさんあっという間に完食でした。お土産選びもみなさん楽しそうでしたよ。

おかげ横丁では、昼ごはん食べてもデザートは別腹の方々多く、ソフトクリームやかき氷やまんじゅうを食べている人もいました。とても暑かったので、美味しかったでしょうね。ここでもお土産はしっかり購入しました。





ホテルに到着すると、とても景色のいいお部屋でびっくり!!目の前には海が広がっていました。お風呂に入ってから、みんなが楽しみにしていた夕食＆カラオケ大会♪とても豪華なご飯にみんな大満足でした!

就旦の夜は中々更けません。みんなが部屋に戻ると、女子会がスタート。乾杯した後に、パックで女子力を高めた様です(笑)

2日目は、メンバーさんのリクエスト。パルケエスパニャへ!!アトラクションを楽しんだり、パレードを見たり、一緒に踊ったり、写真を撮ったり。各グループで時間いっぱいに楽しめたようです。

天気予報では雨模様だったので、雨が心配でしたが、何とか大雨にはならずに済みました。毎日仕事をとても頑張っているメンバーさん。毎月の大切な工賃から旅行のために月々積み立てて計画した一泊旅行。いい天気でよかったです。2日間楽しめたのではないでしょうか。今回は、残念ながら全員での参加はできませんでしたが、次回こそはみんなで楽しめたらいいなと思います。

(渡加)







10月19日（日）に、毎年恒例の心学塾フェスタを開催しました。今年のテーマは『触って！食べて！楽しんで！みんなで楽しむ実りフェスタ』。テーマ通り、ふれあい移動動物園とちいさなマルシェをメインとして皆さんが楽しめる催しをしました。メインに関しては、3年連続での催しで定着しており、内容については、企画調整会議や職員会議で何度も調整をして、昨年よりも楽しめるイベントを企画しました。また、準備段階ではキッチンカーの決定がなかなか進まなかつたり、看板製作が遅れたり、野菜屋さんへの依頼が決まらなかつたりと困難な事がありましたが、「必ず成功させたい」という思いで力を合わせ、なんとか当日を迎える事ができました。

フェスタ当日の天気予報では雨となっており、雨天開催になるかと心配して雨天時の準備もすすめていましたが、当日は曇り空ながら時折晴れ間も見られ、多くの方にご来場いただける事ができました。前年度は 200 名程（一般来場者は 150 名程）、今年に関しては広報のおかげもあり 382 名（一般来場者は 300 名程）の方に来場して頂きました。移動動物園も列が出来るほどで、びっくり！！ワークショップでは、キーholder、どんぐりや松ぼっくりを使った「森の仲間達」の作品作り等が大人気で、小さなお子様達の行列が出来るほどの盛況ぶりでした。皆様が楽しそうに過ごされている様子を目にして、心からほっとするとともに、来年も今年以上に楽しんでいただける心学塾フェスタを企画していきたいと思います。ただ、心残りとしては、お子さんが食べるものがなく外に行く様子もみられました。お子さんが好きな物とは・・・

「ポテト・たこせん・たこ焼き・焼きそば・カレー」かな？動物園に関しても「ヘビがいない」という言葉を多く聞き、皆さんのニーズを満たせるように次へ活かしていきたいと思います。最後に、駐車場のご提供や地域の皆様のご協力、協力事業所の出店協力など皆様のお力添えがあってこそ開催できた心学塾フェスタでした。

心から感謝申し上げます。

（深田）

二〇〇〇年
一月一二日第三種郵便物承認

毎月(一・二・三・四・五・六・七・八の日)発行

定価百円

11月に津田フェスタ、山田中学校での販売を行いました！

○山田ふれあい広場○

11月1日(土)に山田中学校にて山田ふれあい広場での出店をさせて頂きました。

お天気にも恵まれて、たくさんの地域のお客様にご来店頂けました。

皆さんからパンもクッキーもケーキも「どれもおいしいよ」と好評を頂くことができメンバーさんも喜んでいました。これからも地域の皆様から心より愛される心学塾作業所でいたいと思いました。

ありがとうございました。



◎津田フェスタ◎

11月30日(日)津田フェスタが津田生涯学習センターであります。お天気良く大盛況でした。パンはあつという間に売り切れ、クッキー・ケーキもたくさん売れました！ありがとうございました！



ご寄附のお願い

社会福祉法人心愛では、どのような時代がこようとも知的にハンディのある利用者が地域で安心して幸せに生きていく社会の実現を目指しています。しかしながら、現在の社会福祉制度において施設の建設・運営等の資金は、公的補助金と寄附金を前提に成立しています。

当法人も創成期より多くの方々の善意とご支援のもとで、サービスの充実化や福祉の課題に向き合い、事業を継続してまいりました。その為、お寄せいただいた寄附は財源の一部とし、利用者の高齢化等による課題に向けての設備の充実化やサービス向上、事業の拡大等に活かしていきたいと考えています。皆様からのあたたかいご支援を心よりお願い申し上げます。

社会福祉法人心愛への寄附は寄附控除の対象となります。

1月の予定

- 12/23 (火) セボン販売
- 12/27 (土) 冬季休み
(1/5まで)
- 1/7 (水) 市役所バザー
- 1/17 (土) 土曜日開所
- 1/30 (金) 市役所バザー

●○編集後記○●

2025年も終ろうとしています。一年が終わるのを最近は本当に早く感じています。たくさんの思い出や悲しい別れがあった一年でもありました。一緒にいる事が当たり前と感じて何気なく過ごしていた事の大変さを改めて感じました。さて、来年はどのような一年になるのでしょうか？来年もメンバーさんと楽しめるように取り組みたいと思います。

渡加・深田・津熊